



# News Release

<この件に対するお問い合わせ先>

武田薬品工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

(大阪)06-6204-2038

(東京)03-3278-2039

2004年2月6日

## オックスフォード糖尿病センターとのパートナーシップについて - 新研究棟「Takeda Wing」が開所 -

今般、オックスフォード糖尿病センター(OCDEM、英国オックスフォード)に新しい研究施設が竣工し、「Takeda Wing」と命名され、英国時間の2月5日に開所しました。Takeda Wingは、2002年6月に開始した当社とOCDEMの5年間のパートナーシップに基づく当社の寄付により建設されたものです。

OCDEMは、オックスフォード大学とNational Health Service(NHS)および当社を含むパートナー企業3社が連携する、糖尿病、内分泌・代謝疾患に関する基礎および臨床研究、臨床治療、教育機能を兼ね備えた世界的な研究センターです。1999年の設立以来、各専門機能のシナジーと統合的研究による疾病の解明や治療法の探索を追求しており、Takeda Wingの稼働によりOCDEMが目指してきた全ての施設と機能が完成しました。

英国オックスフォードで開催された開所式には、武田薬品、武田欧州研究開発センター(株)、オックスフォード大学、NHSの関係者が参集しTakeda Wingの開所を祝うと共に、今後、共同研究や研究者の派遣など学際的な連携関係を構築することが確認されました。

開所式のスピーチにおいて、当社取締役 医薬研究本部長 左右田 隆は、「世界的な糖尿病の研究センターのパートナーとして、糖尿病研究に貢献できるのはとても喜ばしいことです。Takeda Wingの開所が、OCDEMの更なる発展と患者さん重視の糖尿病治療研究の一助となることを願ってやみません」と述べています。

OCDEMセンター長 デビッド マシューズ教授は「Takeda Wingの開所は我々の連携を、より強いものにするでしょう。武田薬品とのパートナーシップによりOCDEMの科学的基礎が強化され、探索研究と発見のポテンシャルが広がることを嬉しく思います」と述べています。

当社は、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」ことを経営理念とし、経営方針の一つに“ステークホルダーとともに発展する会社”を掲げています。事業活動を通じた理念の実現は勿論のこと、このようなパートナーシップを通じてよりよい企業市民として社会に貢献できることに深い意義を感じています。

以上